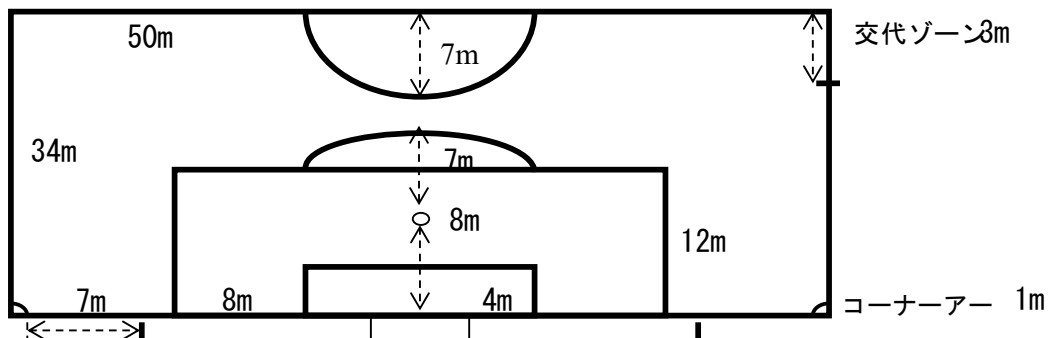


2022 JUNE チャレンジカップ争奪U11少年サッカー大会開催要項

※新型コロナウイルスの影響により不測の事態が起こった場合は、すべてにおいて下記の限りではない事を留意願います。

- 1 主 旨 少年サッカーレベル向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な少年を育成する
- 2 主 催 苫小牧地区サッカー協会
- 3 主 管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
- 4 協 賛 株式会社小金澤組、有限会社シルバーメタル商会
- 5 期 日 2022年6月4日（土）、5日（日）
- 6 会 場 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場
- 7 参加資格
 - ① 「参加チーム」は今年度に（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）並びに苫小牧地区サッカー協会4種委員会に本年度加盟登録済みのチームであること。（準加盟チームを含む。）
 - ② 「参加選手」は上記「加盟チーム」に所属するU11で構成された選手であること。ただし、U6選手の参加は認めないものとする。
 - ③ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が本協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。
 - ④ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
 - ⑤ 「参加チーム」は必ず『傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険）等』に加入していること。
 - ⑥ 複数チームエントリーする際は、各チームに公認指導ライセンス保持指導者及び帯同審判員が必要である。また、引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。
- 8 競技規則
 - ① （公財）日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
 - ② ゴールキーパーの負傷退場等のより、緊急避難的にフィールドプレイヤーがゴールキーパーに変わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。
- 9 競技方法
 - ① 競技方法は次のとおりとする。
 - ・ リーグ及びトーナメント方式とする。
 - ・ 出場チームを6ブロック（1ブロック3～4チーム）に分け、予選リーグを行う。
 - ・ 予選リーグ各ブロック1位（6チーム）、4チームブロックの2位（1チーム）、3チームブロックの2位上位（1チーム）、計8チームが決勝トーナメントへ進出する。
残りのチームは交流トーナメント、交流リーグへそれぞれ進出する。
 - ・ 予選リーグにおける順位決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ア 全試合の得失点差（総得点－総失点）
 - イ 全試合の得点
 - ウ 当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
 - エ ア～ウの全項目において同一の場合は、PK方式（5人）にて勝者を決定する。
 - ② フィールドの大きさは次のとおりとし、ゴールは少年用（5m×2.15m）とする。



- ③ 試合球は公認球（少年用4号球）を使用する。
- ④ 競技者の数および交代
 - ・ 1チーム8人の競技者によって行われる。チーム競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
 - ・ 登録できる交代要員および交代の人数は設けないとし、交代して退いた競技者は交代要員となって再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
 - ・ ゴールキーパーは、事前に審判に通知した上で、試合の停止中に入れ替わる事ができる。
- ⑤ 競技者の用具
 - ・ 競技者の用具については、（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。ただし、ユニフォーム規定第4条の規定にかかわらず、登録していないユニフォームを着用することができる。
 - ・ ユニフォームチェックは行わないため、試合開始時までに当該チームでユニフォーム色を調整すること。
 - ・ GKのビブス着用は認める。
- ⑥ ベンチに入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
- ⑦ 試合時間
 - ・ 試合時間は30分、ハーフタイムのインターバルは全て3分とする
 - ・ 規定の時間内に勝敗が決しない場合は、いわゆるPK方式（3人）で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、決勝においては、前後半5分ずつの延長（ハーフタイムのインターバルはなし）を行い、なお勝敗が決しない場合にはPK方式（3人）にて勝者を決定する。
 - ・ 暑熱下において、前、後半中ほどに飲水タイムを採用する。
- ⑧ 警告・退場
 - ・ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
 - ・ 本大会において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、以降の処置については規律、フェアプレー委員会で決定する。
 - ・ 大会期間中の異なる試合において警告を2回受けた競技者は次の1試合に出場できない。
 - ・ 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については、委員長が決定する。

10 参加料 5,000円

11 組合せ 事務局にてフリー抽選をおこない決定する。

12 帯同審判 ① 参加チームは公認審判員（4級以上）を必ず1名以上帯同させること。ベンチ入り指導者が審判員を兼ねる場合は審判を優先しなければならない。

② 主審1名、補助審1名の計2名の審判で行う。

13 表彰規定 決勝トーナメントにおいて優勝、準優勝、第3位のチームを表彰する。

14 開会式 開会式は行わない

15 閉会式 表彰規定に該当しているチームは参加すること。

16 その他 ① 大会規定に違反し、その他不都合な行為が発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止

② 選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるごみ）については、チームの責任とする。

③ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には大会委員長・審判長・事業委員会において競技の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、（公財）北海道サッカー協会策定のガイドラインに沿って大会運営を行っていく。

⑤ 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で、関係者から感染者がでた場合は、本大会運営委員会において協議の上対応する。

⑥ 大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に各チームの感染対策担当者ミーティングを実施する。

⑦ 本大会における感染対策担当者は4種委員長とする。別途定める新型コロナウイルス感染予防に関する事項をチーム内で周知し徹底すること。

⑧ **新型コロナウイルス感染症対策のため各チームの責任において日々選手の健康管理を徹底する事。また、メンバー表は3部（会場に提出する分等があるため）提出すること。**

⑨ **本大会の結果をポイント加算し来年度のU12リーグ戦組合せに反映させる。**